

第119号



輪中の郷 おたっしや通信

社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター
わじゅうの家 結い

〒498-0039 愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL (0567) 65-5531
FAX (0567) 65-5536
E-mail info@yatomifukushikai.com
URL <http://yatomifukushikai.com>
Instagram yafuku.wajyu



2026年度の取り組み

施設長 伊藤 公一

◆はじめに

日頃は、社会福祉法人「弥富福祉会」の事業運営にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。いつもお世話になりありがとうございます！

法人運営に関しては、3つの重点取り組み施策を中心に、計画の最終年度の目標達成に向けてより具体的な実践をしていきます。また、法人が所属する一般社団法人愛知県老人福祉施設協議会が推進するSDGsアクションの取り組み、「介護の力で人と地域が輝く未来」をキーワードにして、法人職員一人ひとりが資格取得などの自己研鑽に励み、人間力アップをすすめます。

3月に行われた理事会・評議員会で承認された今年度の取り組みは次のとおりです。

※重点取組施策

(2024年度～2026年度の3年間)

- 一、口腔ケア・認知症ケア・看取りケアを中心に、利用者の生きがいに沿ったケアを行います。
- 二、「KAI GO(介護)」の魅力を発信し、職員一人ひとりが楽しんで

で働くことができる職場環境をつくります。

- 三、SDGsの取組を行い、地域の共生社会実現に貢献していきます。

◆法人本部

事業の発展を支えるため、人材確保に引き続き注力し、職員が働きやすい環境整備(組織の見直し)をすすめていきます。そして、生産性の向上、労働力の確保、技術の継承等、法人内外で働く高齢者(アクティブシニア)をはじめ、技能実習外国人介護職員などを活用していくため、法人内制度を含めた職場環境を整えます。

また、専門職による総合事業の地域展開促進並びに地域の独居高齢者、経済的に困窮する者等を支援するため、社会福祉法人として多機関連携の福祉サービスを積極的に提供し、地域に貢献します。

◆特養ホーム

「寄り添って暮らそう。」をモットーに、職員一人ひとりが、人と人との「かわり・つながり・結びつき」を意識し、自立を叶える個別サービス

スの提供を行います。

口腔ケアについて、ホームで住人さんが充実した人生を送るために弥富市歯科部会の協力のもと、歯科衛生士を中心に経口摂取にこだわるなど介護の尊厳に十分配慮しながら、職員全員で考え取り組みます。

看取りケアについて、多職種連携やチームケアをより活性化させ、その人らしい人生の最期をどのように迎えるか体制を整備し、心のこもった旅立ちをお手伝いします。

認知症ケアについて、地域とのつながり中で、認知症地域支援推進員を中心に、いっぽくカフェや市内小中学校への出前授業などを開催し、認知症でも安心して暮らせることができる地域づくりを推進します。

また、新興感染症や南海トラフ巨大地震をはじめとした各種の自然災害が発生した場合でも、利用者に必要なサービスが安定的かつ継続的に提供されるBCP体制を構築し、地域住民と合同訓練の実施を行うことにより、実践的な体制づくりをすすめます。

◆通所介護(デイサービス)

「笑い合い・見つめ合い・楽しみ合い・助け合い、意義ある日々を共に」をモットーに、社会福祉法人事業所として、利用者、ご家族、地域に喜んでいただけるサービスの提供に努めます。利用者ご家族が、個々に抱えている悩みや不安の解消・軽

減を図り、家族へのアプローチや問題解決にあたるほか、必要がある場合には他のサービスと連携、調整を行います。併せて、介護テクノロジーの活用により、DX体制を整え、生産性向上業務の効率化をすすめ、積極的にご利用者の受け入れを行います。

◆居宅介護支援

地域でのセーフティネット事業所として、利用者、家族の相談に対応すべく24時間連絡体制を継続し、困難事例等にも積極的に対応します。また、ケアマネジメントのスキルを磨き、相談や依頼の一つ一つに誠意をもって対応し、事業所全体で支えられる体制を整備していきます。弥富ケアマネ会を充実させ、人材確保、地域連携を拡げます。

◆共同生活援助(わじゅうの家結い)

利用者及びその家族の願いやニーズを基に事業を進め、「利用者・家族の笑顔、職員の笑顔、地域の皆さんの笑顔」を育むことを大切にしているグループホームを目指します。そして、我が事・丸ごとの地域共生社会、重層的支援体制とは何かを考え、世代を超えた直面する困りごと・生きづらさの複合化・複雑化から表れる支援ニーズとの間にギャップが生じてきたことに対し、利用者・家族・職員間で日常的に共に学び、育みあい信頼関係を深めていきます。

◆おわりに

当法人は、1992年(平成4年)6月に市民の総意で設立された経緯、理念・原点を忘れずに、弥富市を中心に地域にとってなくてはならない社会資源として、役割を果たせるよう努めてまいります。また、各事業の効率化を図りながら、「弥富市第10期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」に向けての、地域のニ-

入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介します。



佐野つき子さん

このたびは、11月21日よりけやきくすのきほーむの住人さんとしてお迎えいたしました。ご入所当初より、同じテーブルの皆様と和やかに話をされたり、時には歌を口ずさみながら穏やかな時間を過ごされておられ、周囲の職員も温かい気持ちで見守らせていただいております。

常ににこやかな表情で過ごされ、特にかわいらしい物を手にされた際には、より一層柔らかな笑顔を見せ

ズをふまえ、信頼され親しまれる法人となるよう努めてまいります。今後とも、地域の皆様の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



てくださいます。ぬいぐるみを抱かれながら優しく声をかけていらつしやる姿は、周囲の方々にも安心感を与えているように感じられます。

これから、佐野様が毎日を心地よく、笑顔で過ごしていただけるよう、お一人おひとりに寄り添った関わりを大切にしてまいります。

また、暖かい季節には外気に触れながらお散歩をしたり、季節の花々をご覧いただく機会を設け、普段とはまた違った表情や様子を拝見できればと考えております。今後とも、どうぞ末永くよろしくお願い申し上げます。

(上野慶子)



鳥居なり子さん

12月9日より、いちよう・しらかばほーむの住人さんとしてお迎えいたしました。

ショートステイご利用の頃から関わらせていただいておりますが、このたびご縁があり、引き続き担当を務めさせていただくことになりました。

ご本人はお話されることがとてもお好きで、周囲の方や職員にもよく声をかけてくださり、笑顔で楽しんでに会話されている姿がとても印象的です。

これからも、日々の生活の中でご本人のご希望を伺いながら、安心して過ごしていただけるようお手伝いしてまいります。

どうぞ体調にお気をつけて、穏やかな毎日をお過ごしください。

(白石龍之介)



松本三千代さん

1月24日より、いちよう・しらかばほーむの住人さんになりました。

初めの頃は、慣れない環境に少し戸惑われている様子もありましたが、今では同じテーブルの皆さまとお話をされたり、軽作業に取り組みられたりと、少しずつ新しい生活に馴染まれてきています。

お顔にやわらかな表情が見られることも増え、私たちもとても嬉しく感じております。

これからも輪中の郷での毎日が、三千代様にとって安心でき、笑顔があふれる時間となるよう、さまざまなレクリエーションや交流の機会を通して、楽しいひとときをお届けしてまいります。

季節はこれから暑さが増してまいります。水分補給をこまめに行い、体調に気をつけながら、元氣にお過ごしいただけるよう職員一同で見守ってまいります。

今後ともどうぞ温かく見守っていただけますと幸いです。末永くよろしくお願い申し上げます。

(田中まり子)



藤田 和子さん

1月30日より、けやき・くすのきは1むの新しい住人さんとしてお迎えいたしました。

入所当日からご自身の好き嫌いが

はつきりされており、思っていることをしっかり言葉で伝えてくださる方です。そのため、私たち職員も関わりの中で自然と笑顔になり、日々のコミュニケーションがとても心地よいものになっています。

テレビがお好きで、特にバラエティー番組をご覧になっている時には、思わず大きな声で笑われることもあり、その明るい笑い声がフロア全体を和ませてくれます。

また、音楽を聴くことも大変お好きで、好きな曲が流れると「嬉しい」と表情をほころばせてくださる姿が印象的です。

お話しすることもお好きで、職員だけでなく、他の住人さんとも積極的に交流され、毎日を楽しく過ごされています。会話の中で見せてくださるユーモアや優しい言葉が、周囲の雰囲気より温かいものにしてきています。

これから夏に向けて暑さが厳しくなつてまいります。どうか体調を崩されることなく、これまでと変わらずお元氣にお過ごしただければと思います。

私たち職員一同、安心して暮らしていただけるよう、これからも心を込めて支援してまいります。

末永く、どうぞよろしくお願いいたします。

(リベラ ジェニアン ボテ)



伊藤久仁子さん

1月31日よりけやき・くすのきは1むの住人さんとなりました。

これまでショートステイをご利用いただいていたこともあり、入所後も落ち着いた様子で、穏やかな日々を過ごされています。

お席の移動が数回ございました

弥富市内で最・高齢

大正10年生まれの大城ヒサエさん(104歳)は、現在、特別養護老人ホームで穏やかな日々を過ごされています。

お会いするたびに、ヒサエさんはご自身で作られたオリジナルの歌を、張りのある大きな声で楽しそうに披露してくださいます。レパートリーは実に豊富で、その歌声には聞く人の心を明るく照らす力があり、私たち職員もいつも元氣をいただいています。

また、ヒサエさんは食べるのが大好きで、特に甘いものには目がありません。甘いお菓子が出てくると、ぱっと表情が輝き、「おいしい」と満面の笑みを浮かべて

が、その都度、変わらず優しい笑顔で周囲の方とお話しされ、隣席のご入居者様とも和やかに交流されています。職員にも「いつもありがとうございます」と温かい言葉をかけてくださり、私たちも大変励まされております。

これからも、伊藤様が無事して、笑顔で毎日をお過ごしいただけるよう、職員一同しっかりとサポートしてまいります。今後とも、どうぞ末永くよろしくお願い申し上げます。

(伊藤佑里子)

くださいます。その笑顔を見ると、こちらまで幸せな気持ちになり、思わず一緒に食べたくなってしまうほどです。

これからも、美味しいものを味わい、好きな歌をたくさん歌いながら、どうか健やかに、そして心豊かに過ごしてください。

末永いご健康とご長寿を心よりお祈り申し上げます。(足立大和)



外国人でも
できる!

介護福祉士 一発合格までのリアルな 道のり



こんにちは「チン」です。
高齢者ケアの分野で働く職員にとって、「介護福祉士」の資格取得は大きな目標の一つです。年に一度しか受験できず、難易度も高いと言われる試験です。私が初めて施設に入職した時、多くの先輩職員がこの資格を持っていることを知り、とても尊敬の気持ちを抱きました。いつか自分もその一員になりたいと強く思いました。

外国人職員として資格を取得するには、日本語の壁もあり、他の職員以上の努力が必要だと感じていました。実際、外国人の中には介護福祉士だけでなく、複数の資格を持っている方もおり、私もそのように成長したいと考え、今年中の受験を決意しました。

合格した先輩たちと同じように、仕事をしながら勉強を続けました。日本語の習得は簡単ではなく、学ぶ内容も多いため、何度も心が折れそうになりました。それでも「みんなができるなら、私にもできる」と自分を励まし、少しずつ前に進みました。

その結果、幸運にも一度の受験で無事に合格することができました。私は特別優秀なわけではありませんが、努力を続ければ必ず道は開けると実感しました。もしあなたが本気で挑戦したいと思うなら、きっと私以上にうまくやれるはずです。

(レティチン)

介護の学びを深めた他施設研修とBBQ交流会

令和8年4月2日(木)、新人研修の一環として、私とインドネシアからの技能実習生4名は、特別養護老人ホーム「やすらぎの里」を訪れ「新しく介護を学ぶ」貴重な機会を得ました。

研修では、介護サービスの基本、専門職として求められる姿勢、現場で必要となる知識について丁寧に教えてくれました。

さらに、シーティングやポジショニングの実技、ノーリフトケアに基づく介助方法など、実践的な内容も多く、非常に学びの深い時間となり、インドネシアの技能実習生たちも熱心に取り組み、質問を交えながら積極的に学ぶ姿が印象的でした。

私自身も、他施設の取り組みや考え方に触れることで新たな視点を獲得ことができ、充実した一日となりました。

研修終了後は、やすらぎの里職員の皆さんが準備してくださったBBQに参加しました。そこで働くインドネシア出身の職員や新人職員の方々と交流する機会があり、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

言語や文化の違いを越えて、同じ介護の仕事に携わる仲間としてつながりを感じられる非常に貴重な時間でした。今回の研修と交流を通して、介護の専門性だけでなく、人とのつながりの大切さを改めて実感させていただきました。

今後の成長につながる学びを重ね、専門職としての歩みをさらに深める一日となった。

(akito)



永年勤続職員表彰

令和8年1月1日現在で、20年・10年以上勤務の次の職員に対し、
社会福祉法人 弥富福祉会永年勤続職員表彰規定に基づき、
理事長から表彰状と記念品が贈呈され、
お祝いと労いの後、
これからも精進し法人事業の進展に寄与してもらいたいとの言葉がありました。



20年表彰

- ・特別養護老人ホーム輪中の郷
副施設長(生活相談員) 大野 弘 貴

10年表彰

- ・特別養護老人ホーム輪中の郷
グループリーダー
(介護支援専門員 兼 生活相談員) 杉 山 幸 代
主任専門員
(介護福祉士 兼 介護支援専門員) 中江奈穂美
介護福祉士 野 井 星 香
調 理 士 伊 藤 佑 莉
介護福祉士 大河内直子
介護福祉士 伊 藤 洋 子
介 護 士 太 田 福 実
- ・弥富市デイサービスセンター
調 理 士 佐 伯 汐 里
- ・弥富市南デイサービスセンター
調 理 士 古 城 さ お り



お寿司
大好き!

皆さんの笑顔がはじけた 握り寿司イベント

2月21日に、毎年恒例となっている**「握り寿司」のイベント**が開催されました!

今回用意されたネタは、海老、玉子、まぐろ、穴子、サーモンの5種類です。皆さんに美味しく、そして安全に召し上がっていただけるよう、お身体の状態に合わせて「普通食」だけでなく、「ソフト食」や「ミキサー食」など、さまざまな工夫を凝らしたお寿司が準備されました。

特にミキサー食では、専用のゲル化剤を使ってお寿司の形を再現したり、タレやトロミを調整して味付けを工夫したりと、見た目でもお寿司を楽しめるようにこだわっています。

入居者の皆さんからは「美味しいです」「お寿司大好きなんです」といった嬉しい声がたくさん聞かれ、何度もおかわりをされる方もいらっしゃるほど大好評でした!皆さんの美味しそうに食べる笑顔を見て、スタッフ一同も「作って良かった」と温かい気持ちになれた一日となりました。

来年もまた、皆さんに喜んでいただけるようにお寿司を提供していく予定です。楽しみにしていてくださいね。

(梁取加代子)



カツオの魅力

季節で移ろう味わいと栄養

カツオは温暖な海域を好む回遊魚であり、季節ごとに日本近海を移動します。その動向は日本の豊かな四季を象徴しており、春から夏にかけて北上してくるカツオは「初鰹」(はつがつお)と呼ばれ、夏の到来を告げる風物詩として古くから親しまれてきました。一方、秋に水温の低下とともに南下するものは「戻り鰹」(もどりがお)と呼ばれます。

カツオは、この季節(時期)によって栄養価が大きく変化するのが大きな特徴です。

・初鰹の栄養と特徴

「初鰹」は、脂質が少なくさっぱりとした味わいの特徴ですが、身体を作る良質なタンパク質が豊富に含まれています。また、エネルギー代謝に欠かせないビタミンB群や、貧血予防に役立つ成分も含まれており、夏に向けた体力づくりに最適な食材。

・戻り鰹の栄養と特徴

秋の「戻り鰹」は、初鰹に比べて脂がたっぷりと乗っているのが魅力です。一般的に青魚に豊富とされるEPAやDHAの含有量については、他の青魚と比較すると控えめな側面もありますが、その分、濃厚な旨味を楽しむことができます。



調理と利用

カツオの身は熱を通すとパサつきやすい性質があるため、刺身や「タキ」で食べるのが一般的です。また、和食の基本である出汁(だし)に欠かせない「鰹節(かつおぶし)」の原料としても、私たちの食文化に深く根付いています。

環境への影響と未来

しかし、近年の地球温暖化による海水温の上昇は、カツオの回遊ルートや餌となる生物に大きな影響を与えています。こうした環境の変化は、カツオ自体の身質や栄養状態を左右する要因にもなりかねません。

私たちは、旬の味覚を楽しみつつ、SDGs(持続可能な開発目標)の観点からも海の資源に目を向け、この豊かな「カツオ」の食文化を次世代へ繋いでいくことが求められています。

(星野芳江)

デイサービスセンター輪中の郷

「節分&バレンタイン」

2月でのレクリエーションでは、「節分」「バレンタイン」にちなんだおやつ作りを行いました。

初旬と言えば「節分」です。厄

除けと一年の無病息災を願い、豆まきを行いました。鬼のパネルを作成し、お手玉を豆に見立てて、パネルめがけて「鬼は外、福は内」の掛け声に合わせて投げていただきました。投げている方からは「なかなか当たらん」「あーもううちよつとだったのに」などの声が聞こえ、周囲からは「もうちよつと上だわ」「頑張つて」と声援が上がりました。職員も鬼に扮して参加し、時々職員にお手玉が当たると笑い声が沸き起



こっていました。「さっきうまく投げられなかったから、もう一回やらせて」とリベンジに挑む方もおられ、皆様の活気あふれる一生懸命な様子が伝わってきました。

そして、バレンタインレクリエーションとして「豆腐のチョコムース(バナナ添え)」を作りました。利用者様にはチョコと豆腐を混ぜる工程と、盛り付けを担当していただきました。袋に入れた材料が一生懸命に揉み合わせている様子が見受けられました。盛り付けの最後にバナナを上に乗せる際は、待ちきれずにバナナを先に味見される方もいらつしやり、和やかな雰囲気となりました。実際に食べてみると人それぞれ好みもあり、「もうちよつと甘いほうが良かったかな?」という声や「ちようどいい甘さでおいしい!」と言って喜んでくださる場面もありました。今後も季節に合ったイベントを行い、利用者様が楽しんで過ごしていただける時間を提供していきます。



(奥村和久)

弥富市デイサービスセンター

「食文化交流会」

「ご家族とのおやつ作り」

3月22日の家族会では、ご利用者ご家族が一緒になって「さつま芋茶巾絞り作り」を行いました。あらかじめ厨房で丁寧に茹で上げられたさつま芋を、まずはご利用者がゆつくりとつぶし始めます。隣に座るご家族がボウルをしつかり押さえ、二人一組で息を合わせながら作業が進んでいきました。

デイルームには、ほくほくとしたお芋の甘い香りがふんわりと広がり、自然と笑顔がこぼれます。「上手につぶしているね」「もう少し細かくしてみようか」など、普段よりも会話が弾み、和やかな空気に包まれました。手を動かした



がらの共同作業は、どこか懐かしい家庭の風景を思い起こさせ、ご利用者の表情もいつも以上に柔らかく感じられました。



巾絞りを手にした皆さんは、「きれいにできたね」「おいしそう」と満足そうな様子で、味わいながら楽しいひとときを過ごされました。

普段はなかなかゆつくりと時間を共有することが難しいご家族との交流は、ご利用者にとって特別で心温まる時間になったのではないのでしょうか。ご家族の皆さまにとっても、日常とは少し違う形で関わり合うことで、新たな一面を感じていただけたように思います。

今後も、こうした「共に作る」体験を通して、笑顔あふれる交流の場を大切にしていきたいと考えています。
(松江睦子)

弥富市南デイサービスセンター

「野焼きパン」



三月半ば、暖かい陽気の日が多くなり、日当たりの良い南側デッキのベンチでおしゃべりをしながら日光浴をされる方の姿が多く見られるようになりました。

そんな穏やかな日、レクリエーションとして、おやつ作りを兼ねた「野焼きパン」作りを行いました。パンの生地は厨房職員が用意してくれたものです。春の暖かさでしっかりと発酵し、ふくら膨らんだ生地を細い竹の棒にくるくると巻き付け、棒を回しながら炭火でゆつくりと焼いていきます。

炭火でのパン焼きという、野外ならではの経験をお持ちの方はほとんどおられず、少し焦げてしまいうのもご愛嬌。皆様、焼き上がる

過程を楽しまれ、焼き上がったパンにジャムやマーガリンを塗って美味しそうに召し上がっておられました。一本では足りずにお代わりをされるご利用者様もいらっしゃり、楽しいひと時となりました。

(伊藤明美)



わじゅうの家 結い

「桜の季節」

桜を見ると、多くの方が穏やかな気持ちになれるのではないでしょうか。

「結い」のみなさんも、毎年この季節を心待ちにしており、満開の桜の木の前で写真を撮ることが、すっかり春の恒例行事となっています。柔らかな陽ざしの中で皆さんが並び、桜色に包まれた笑顔を见せてくださるその光景は、私たち職員にとっても大切な春の風物詩です。

しかし、そんな桜にまつわる少し悲しい知らせが届きました。

弥富市では、明治から大正にかけて、金魚の養殖地として栄えた地域の水環境を整える治水事業とともに、多くの桜が植えられてきました。水辺に映る桜の姿は、長い間この町の誇りであり、人々の



暮らしに寄り添ってきた歴史そのものです。私たちが暮らすこの



町が「桜の町」と呼ばれるのも、そんな積み重ねがあつてこそです。

ところが近年、その桜が次々と伐採される事態が起きています。老木化が進んでいることに加え、特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの被害が深刻化しているためです。成虫は6〜8月頃に産卵し、孵化した幼虫が木の内部を食い荒らすことで、桜は徐々に弱り、やがて枯死してしまいます。施設周辺の桜も例外ではなく、幹からフラス（木くず）がこぼれているのを見かけることが増え、残念ながら数本の木が伐採を避けられない状況になっているとのこと

です。それでも春が訪れると、「結い」の周りには淡いピンク色の景色が広がります。満開の桜が風に揺れ、

花びらが舞い散る様子は、まるで季節が祝福してくれているかのようです。玄関のドアを開けると、今朝も数枚の花びらがひらりと入り込んでいました。ほんの少しの「いたずら」のようなその光景でさえ、思わず笑みがこぼれます。

こうした何気ない瞬間が、桜がこの町にもたらしてきた豊かさなのだと改めて感じます。だからこそ、少しでも長く、みんなが愛する桜を見続けられることを願わずにはいられません。

とはいえ、「結い」のみなさんの笑顔は、今日も満開です。花粉症で悩む方もいらつしやいますが、春の陽気に誘われて、外へ散歩に出かけたくなる季節です。桜の木が減ってしまう現実には寂しいものですが、季節を楽しむ心は失われません。これからも、みなさんと一緒に春の景色を味わいながら、日々の小さな幸せを見つけたいけたらと思います。

(後藤安代)



ホーム入所選考結果

3月16日(月)に、第76回入所選考委員会を行い、要介護3以上の方に ついて次表のとおり待機者名簿に登 載し、早期入所希望者に入所順を通 知しました。

	海 津 市	名 古 屋 市	桑 名 市	蟹 江 町	愛 西 市	木 曽 岬 町	弥 富 市	計
男	1	0	0	0	2	2	31	36
女	0	2	2	1	3	9	60	77
計	1	2	2	1	5	11	91	113



物故者慰霊法要

輪中の郷では、4月19日に、昨年度お見送りさせていただいた方々の物故者慰霊法要を執り行いました。令和7年度は、22名の入居者様(住人さん)をお見送りさせていただきました。

法要当日は天候にも恵まれ、大変穏やかな一日となりました。残念ながら都合がつかず、ご参列が叶わなかったご家族様もいらつしやいましたが、当施設の入居者様にもご参加いただき、多くの方々と共に執り行うことができました。



一年という月日は長いようでいて、あっという間に過ぎ去ってしまいますが、ご家族の皆様にお会いすると、皆様と過ごした日々が昨日のことのように思い出されます。人生の最期の時間を共に過ごせたことに心より感謝し、これからも職員一同、より一層励んでまいりたいと思います。

(伊藤 篤)



亡くなられた方々

- ・木戸 サワさん 令和七年十一月二十七日 百三歳
 - ・生駒 正志さん 令和七年十二月八日 七十七歳
 - ・佐藤千香子さん 令和七年十二月十四日 九十二歳
 - ・田中すす子さん 令和七年十二月十四日 九十五歳
 - ・石川つや子さん 令和八年一月十八日 百一歳
 - ・石川 スマさん 令和八年一月二十一日 九十六歳
 - ・中山 正美さん 令和八年一月二十九日 九十一歳
 - ・鬼頭 勲さん 令和八年二月十六日 九十一歳
- 皆様の
ご冥福を
お祈りいたします。



編集後記

春は、ただ気温が上がるだけの季節ではなく、心の中までそっとリセットしてくれるような不思議な力があります。一年の中でも、私は春が一番好きです。冬の間にぎゅっと縮こまっていた気持ちちが、柔らかな陽

ざしに触れるたびに、ゆっくりとほどけていくようで、「また新しく始められる」という前向きな気持ち自然と湧いてきます。

桜が咲き始めると、見慣れた景色が一気に華やき、まるで特別な舞台に変わったかのように感じられます。満開の桜の下を歩くと、普段は気づかない小さな風の音や、道ゆく人の表情まで優しく見えるから不思議です。ほんの短い期間しか楽しめない儚さも、桜をより大切に思わせてくれる理由の一つなのだと思います。

桜だけでなく、色とりどりの花が次々と咲き始め、冬の静けさから一気に世界が色づいていく様子を見るのも春ならではの楽しみです。日が長くなり、夕方の柔らかな光に包まれると、忙しい日々の中でもふと立ち止まって深呼吸したくなる瞬間があります。「よし、また頑張ってみようかな」と自然に思えるのが、春の持つ優しさなのかもしれません。

皆さまは、一年の中でどの季節がお好きでしょうか。季節ごとに感じ方や楽しみ方が違うからこそ、どの季節にもそれぞれの魅力がありますよね。ぜひ、皆さまの好きな季節の理由も聞いてみたいです。

これから気温が上がり、暑さが厳しくなる日も増えていきます。どうか体調管理には十分お気をつけて、健やかにお過ごしください。

(バリエルダヘネディナペナ)